



教職員紹介

(敬称略)

宜しくお願いします



校長 田中 重夫



教頭 佛田 清隆

初心に帰る

一学年主任 布村 隆

入学式から早一ヶ月が経ち、少しずつではありますがおこちなさも消え、本校での高校生活を無事スタートさせた様子が伺えます。

ところで先日、ある教育雑誌にこんな一文がありました。「これからの学校での学習内容は、ゆとり教育から確かな学力定着へと向かうのでは...」

しかし私は、今の生徒たちは、学力向上よりもむしろそれをしつかり受け止められる土台として、「早寝・早起き・朝ごはん」を中心とした生活リズムの改善の方が必要に感じられました。つまり、基本的な生活習慣の確立です。

対に身に付けてもらいたい部分であり、今後生活していく中で様々な試練が待ち受けていますが、色々な諸問題解決の糸口になるのではないかと確信しています。

また、「子どもは親の背を見て育つ」と言われますが、活気ある家庭は、家族団らんの時間をもち、会話の時間を確保し、家族と多くの時間を過ごすことです。そして「ふれあい・喜び・悲しみ」を共有できることです。このことも大変重要な事だと感じています。

どうか保護者の皆様には、生徒たちのために多大なご協力とご支援をお願い申し上げます。最後に、生徒たちには自己実現できるよう、学校生活を有意義なものにして欲しいものです。

国語

上段右から

- 幡山さゆり (2の1正)
- 黒川 栄子 (1の3副)
- 小森 礼子
- 村上 一未 (1の5正)
- 下段右から
- 岩上 照朗 (主幹教諭)
- 松丸 繁蔵 (3の1正)
- 齋藤 章子 (3の4正)
- 小山田あゆみ (2の2正)



数学

上段右から

- 小松崎佐智子 (2の6副)
- 船山 鈴子 (2の7正)
- 北条 盛夫 (1の2副)
- 館沼 昇一 (1の7正)
- 木村 敬一
- 下段右から
- 渡邊真由美 (2の5副)
- 横山 敬三 (3の7正)
- 加藤 和雄 (3の5副)
- 佛田 清隆 (教頭)



英語

上段右から

- 西垣 徹 (1の2正)
- 磯 良則 (2の4正)
- リコ・ネムハード
- 渡辺 聡代 (1の6正)
- 篠原 玲子 (1の5副)
- 藤野 光代 (2の3副)
- 千葉卯多子 (3学年付)
- 下段右から
- 佐藤 一典 (3の7副)
- 稲葉 久恵 (3の6正)
- 保坂 里美 (3の2正)
- 長谷川良子 (2の6正)
- 足立 一則 (2の1副)
- 森島 栄 (3学年付)



芸術科 家庭科

- 家庭 赤羽 知子 (1の7副)
- 美術 高久 歳子
- 書道 北村のぞみ (3の3副)
- 音楽 星野 典子 (1の3正)

確かな力へ

二学年主任 幡山さゆり

第二学年二八七名は新しいコース・クラスになり、不安の中にも誰もが希望を胸にスタートしたように思います。二年生は、学校生活にも慣れ、しっかり腰を落ち着け自分を見つめることができる、高校生活の中でも最も充実した時期だと思います。

先日の新聞コラムに、あるプロ野球監督が「負けるときには負ける理由があつて負ける。勝ちよりも負けの方が信じるに足る。」という文章がありました。生徒たちは、自分の生活の中の部活動や進路学習などに置き

進路の選択

三学年主任 松丸 繁蔵

ちょうど八十年前、アメリカから始まった金融危機の荒波が日本列島の岸辺に打ち寄せてきたとき、貧しさを抱えた帝国は産業構造の転換を図りながら、恐慌の波を乗り切る道を選択した。その後の十五年戦争への歩みと破局。歴史の後知恵とはいえ、歴史に必然の歩みなどあるはずもなく、私たちはむしろ歴史に「もし」という問いを發していくべきなのかも知れない。時代の動向はその渦中にあるのではなく、後戻りのできない地点で常に私たちは歩みの必然に思いを致し、変化を諦めてしまふのではないだろうか。

換えて考え、積極的な意見を書いていました。

毎日の授業の中で、理解できなかった部分について、「何の」「どこが」「なぜ」「どうすれば」のチェックをしていくように話しています。理解できなかった「負け」の理由をはっきりさせ、どうすれば理解できるかを考えさせられる授業でありたいと思っています。この一年間、学校生活のあらゆる面でしっかりと自分を見つめ、素直に自己を省みること、確かな力をつけていく次の時期につなげられたらと思っています。

時代の中で若者はどう自身の進路を決めていくべきなのか。最善を尽くそうと懸命に努めることよりも、自分にできることに意を注ぎ、歩み直しを考慮に入れながら、心にゆとりをもつことが必要なのではないか。

寺山修司の初期歌篇の一首、
青空はわがアルコールあおむけにわが選ぶ日日わが捨てる夢(十五歳)

期待感に心を弾ませながら、将来の姿を思い描くとき、選択は必ず夢を捨てることと裏裏であることが歌われている。自分の過去と訣別する覚悟が確かにあるのか、という問いが突きつけられているのだと思われる。



理科

上段右から

- 藁科 実 (1の4正)
- 飯田 則子 (主任実習助手)
- 塩谷 博之 (2の5正)
- 吉村 望 (2の7副)
- 下段右から
- 大塚 圭子 (1の6副)
- 飯竹 雅巳 (3の6副)
- 板倉有紀江 (3の5正)



地歴・公民

上段右から

- 山崎 武 (主幹教諭)
- 北村 裕子 (1の1副)
- 齋藤 均 (2学年付)
- 安達 常将 (2の3正)
- 下段右から
- 中田 良直 (3の3正)
- 渡邊 文夫 (1学年付)
- 柴山 陽子 (3の1副)



体育

上段右から

- 齋藤 恭介
- 小橋 可奈 (1の4副)
- 遠井 努 (2の4副)
- 下段右から
- 篠崎 淳 (3の4副)
- 布村 隆 (1の1正)
- 下和田勝喜 (2の2副)
- 篠崎 悟 (3の2副)



事務

上段右から

- 慶野 克己 (技査)
- 大森 秀男 (事務長)
- 船山 芳夫 (主査)
- 古川 幸一 (主任公仕)
- 下段右から
- 長瀬由美子 (主任)
- 五月女真由美 (主任)
- 黒川 有紀 (主事)
- 小堀美智子 (PTA職員)

